

別記様式

議 事 録

会議の名称	平成 30 年度第 1 回岩倉市子ども・子育て会議
開催日時	平成 30 年 8 月 23 日（木）午後 1 時 15 分から午後 3 時 15 分まで
開催場所	岩倉市役所 7 階 第 2 委員会室
出席者 (欠席委員・説明者)	出席者：渡邊眞依子会長、宮川美樹会長職務代理者、尾関俊徳委員、 町田竜介委員、廣中大雄委員、中島正資委員、小野誠委員、安長美季 恵委員、栗林優子委員、小林麻衣委員、高宮佐和子委員 説明者：教育こども未来部長、子育て支援課長、児童グループ長及び担 当 コンサルタント：地域問題研究所 欠席者：野瀬さやか委員
会議の議題	1 岩倉市子ども・子育て支援事業計画の概要及び進捗状況について 2 第 2 期岩倉市子ども・子育て支援事業計画策定について
議事録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> その他
記載内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の委員長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
会議に提出された 資料の名称	資料 1 委員名簿 資料 2 - 1 岩倉市子ども・子育て支援事業計画の概要と点検及び 評価について 資料 2 - 2 岩倉市子ども・子育て支援事業計画 施策の進捗状況 報告票 別紙：平成 29 年度保健事業実施状況（母子保健・歯科保健） 資料 2 - 3 岩倉市の就学前等における教育・保育の取組概要 資料 3 第 2 期岩倉市子ども・子育て支援事業計画策定について (参考資料) 岩倉市子ども・子育て会議条例 岩倉市子ども・子育て支援事業計画
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	0 人
その他の事項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）	
1. 開会	
事務局	・平成 30 第 1 回岩倉市子ども・子育て会議を開催させていただきます。
2. 委嘱状の交付 教育こども未来部長より各委員に対し委嘱状を交付	

3. あいさつ	
教育子ども 未来部長	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状を市長に代わり交付させていただきました。2年間の任期ですが、お忙しい中、委員をお引き受けくださり、ありがとうございます。 ・会議については、子どもに関する計画を定めており、その進捗状況を検証していただくものです。 ・子ども・子育て支援事業計画については、計画期間を平成27年度からの5年間としており、次期計画にあたる平成32年度からの新たな計画もつくっていくということで、今年度から皆様へのアンケートもお願いしていこうと考えております。 ・皆様からご意見をいただき、子どもに関する施策に活かしていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。
4. 委員自己紹介 各委員及び事務局自己紹介	
5. 会長・会長職務代理者の選出	
事務局	<p>岩倉市子ども・子育て会議条例に基づき、会長に渡邊眞依子委員を推薦する提案 (異議なし)</p> <p>渡邊会長より岩倉市子ども・子育て会議条例に基づき、会長職務代理者に宮川美樹委員を指名 (異議なし)</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・岩倉市の子育て支援は熱心と聞いており、そこに関わらせていただくことを光栄に思っています。 ・岩倉市の行政組織は福祉関係と教育関係が一緒になっているのは非常に珍しいことで、子育て支援を熱心にやってこられました。 ・これまで以上に保護者の方が子育て支援をしやすい環境にし、子どもにとっても幸せな子ども時代を送れるようにできたらと思っております。2年間頑張っていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。
会長職務代理者	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館運営委員会をかわきりに、20年間関わらせていただきました。そこでの経験を活かして、お母様方の現状や岩倉市的な保育などを伝える役割であると思っています。 ・今は生き方を選べる時代であり、要望も多様化していることからどの声を届けるべきか、難しいものとなっています。 ・行政は国の政策があるので、その流れを汲むことは大事ですが、そこからこぼれるお母様方をどのようにするかが岩倉の強みになると思います。そういったソフトの面に関わらせていただけたらと思います。よろしく申し上げます。
6. 議題	

<p>(1) 岩倉市子ども・子育て支援事業計画の概要及び進捗状況について 事務局より、資料2-1、2-2、2-3に基づき、岩倉市子ども・子育て支援事業計画の概要及び進捗状況について説明</p>	
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見、ご質問等ないようですので、議題、岩倉市子ども、子育て支援事業計画の概要及び進捗状況については事務局の報告を了承するという事とよろしいでしょうか。 (異議なし)
<p>(2) 第2期岩倉市子ども・子育て支援事業計画策定について 事務局より、資料3に基づき、第2期岩倉市子ども・子育て支援事業計画策定について説明</p>	
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(補足説明として) 5年前、国の方から全国一律でこの計画をつくるということでしたので、5年前にも全国の自治体が同時に策定しています。当初は計画期間が平成31年度まででしたので、来年度に次の5年間を計画すればよかったのですが、国からしっかりニーズ調査を行い、より実績に近いものでやるようにとの指示があったことから、急遽、今年度の内にアンケートを実施することになりました。 ・アンケートの設問も国からある程度方向性が出されるのですが、今回、それが遅れたため、今回の会議にはお示しできませんでした。次回の会議ではアンケートの内容をご検討いただくこととなります。今年度中のアンケート実施ということもありますので、(資料3：第2期岩倉市子ども・子育て支援事業計画の策定スケジュール(案))日程は10月を考えております。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・病児保育について、平成30年度からは病後児保育も取り入れて進めていくとのことですが、余裕があっても、あまり利用されていないようです。予め頼んでおかなければならず、キャパの関係から急には頼めなかったなど、利用しづらいものとなっていると聞いています。利用しやすくするためのアンケート調査や仕組みは考えておられるのでしょうか。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今までやっていた病児保育の定員は1日、4名から5名でしたが、1年を通して見てみると風邪のひきやすい冬の時期は多くなり、そうでない時期は0人や1人が続くということがありますので、多い時期は利用しづらいということにもなります。定員は園児から小学生を対象にしていますので、定員が4名、5名でも、病気のお子さんが0歳児や1歳児の時は、付きっきりの状態になることから、受け入れが難しくなることがあります。利用しづらい状況とは、そういった事情があるのかもしれませんが。 ・市内の病児保育の病院が1か所しかなかったことから、今年度からは、病後児保育と併せて、市外でも市が指定させていただいた医療機関であれば、補助を出すということになっています。
<p>会長職務代理者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・病児保育について、面倒を見る方はそのために予定を空けておかなければ

	<p>なりません。時間を空けておいたのに仕事が入らないという状況もあるうかと思えます。こういった方たちへの待遇はどのようになっているのでしょうか。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度6月から開始をさせていただきました病後児保育については、NPO法人に委託させていただいておりますが、社会福祉法人にもご協力いただいております。そこで、通常の保育に人を充てておられる状況の中から病後児の需要が入った時には、派遣をいただくという形で進めています。
会長職務代理者	<ul style="list-style-type: none"> ・以前、保育に携わる職員への処遇、待遇について、厳しいものがあると伺いました。以前の会議では、保育にも病後児保育にも対応するスキルをお持ちの職員への処遇、待遇は国からの補助金を充てながら検討していくとのことでしたが、その後の見通しは明るいのでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・保育新制度になり、民間の保育施設へは施設型給付費という形で市が国と県から給付を受け、各施設に運営経費をお支払いする形になっています。運営経費の中には保育士への人件費も入ってきますが、国から示されている保育従事者の処遇改善というメニューがありますので、岩倉市としては、昨年度から福祉部分の保育士と若手のリーダーにあたる保育士について、賃金の改善は算定に入れさせていただいております。さらに、そこに従事する方全体の底上げを国から示されているメニューを採用して、処遇改善ということで盛り込んでいく形となっています。
会長職務代理者	<ul style="list-style-type: none"> ・民間の幼稚園はそれぞれの特色を活かしながら経営をされてきました。新制度ができることで、幅広く対応はされていますが、それぞれの特色を残していけるか危惧しています。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・(事務局に対し) 病後児保育について、アンケートに盛り込めるのかということがありましたが、今回の検討内容となりますね。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・次回までには国からの方針について、明確なものが示されていると思いますので、次回ということになります。 ・国から示されているのは、5年前に行ったものをベースに考えるようにというものですが、大きく変わる点としては、保育料の無償化によるニーズへの影響が考えられますが、各自治体の実情が違っていることから、国としてはその予測について一律には示せないという立場を取っています。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズが出ているのに実際には使われていない事業が幾つかあるようですが、認知の仕方や使いやすさで数が変わってくると思いますので、そういったことをアンケートで取り込めるか、次回、検討できたらと思います。 ・委員の皆様から特にご意見等がございませんので、議題のご提案について、了承ということでよろしいでしょうか。 <p>(異議なし)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これから2年間、スケジュールに沿って皆様と一緒に子ども・子育て支援

	事業計画について、議論していきたいと思いますので、よろしくお願いします。
(3) その他 委員からの意見等なし	
7. その他 事務局より、無償化の説明及び次回の開催日について日程調整	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・(補足説明) 無償化について、現時点では、まだ、どうなるかが分かっておりません。国の方針としては来年 10 月から実施したいとの意向がありますが、市町村側としては準備の時間が必要であり、費用についても消費税の増税分を充てるということになれば、再来年でないと入ってきませんので、年度途中で無償になるのは困るといったことを国にアピールしている状況です。 ・お母様方の間では無償化の話はされているのでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の改定で授業料^{*1}が若干安くなりました。数百円ではありますが大きな反響がありました。 ・第1子、第2子、第3子では授業料が違いますが、第2子だと3分の1くらいで、第3子だと無償になるので、大変、ありがたいとの声があります。無償化になることへの反響は大きいと思います。 <p>(*1 認定こども園では、利用者負担額といいます。)</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところは3歳以上が先行しており、3歳未満は次となりますが、無償化は家計にとって大きなことだと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・第1子のお子さんの家庭にとっては、年間で24万円くらいになると思いますので、ありがたいことだと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・病児保育について、6月から始まったことを知りませんでした。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・6月から開始しましたので、6月号の広報紙には出しています。 ・チラシを作成していますので、保育園や認定子ども園を通じて、保護者の方に直接渡るようにしていきます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・病児保育は午前8時30分からですが、働く人にとっては間に合わない時間だと思います。半休や休みを取るか、親に頼まないと利用できません。利用しづらいという声が聞かれます。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・病院の開所時間との兼ね合いもございまして、保育園と同じ時間になっていないことが現状の課題だという事実もございまして。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・病児保育については知りませんでした。以前のことですが、病気の子どもを預かってもらうため、市外に行ったのですが、値段が高く仕事を休んだほうがよかったということがありました。病児保育のことを伺って、利用してみたいと思いました。 ・学童保育について、現在、学校内でやっている所と児童館でやっている所

	<p>がありますが、学童保育父母の会連絡会では、今後、どのようになるのかが分からないといった声があります。今後の学童保育について、もっと広く周知していただきたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季保育が朝7時30分になることもここで初めて知りました。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・それは既になっています。休みの日、夏休みなどは延長料金が発生しますが、朝の延長と終わりの延長ということです。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の無償化について、幼稚園か、保育園かで値段が違いますが、働くお母さんの中には、パートの給料と保育料を計算されて、幼稚園を選んでいる方もいます。保育園が無償化になることで、今まで幼稚園だった方も働いて保育園に預けるといことになれば、預けたい人は増えると思いますので、保育園の受け皿が今のままで大丈夫なのだろうかと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば午前10時から午後3時まで働いて幼稚園に預けるのか、無償化をうけて保育園にするのかといった選択だと思いますが、アンケート結果が今後のニーズ見込みということにもなってくると思います。 ・非常に参考になる意見でした。併せて、周知不足も痛感しましたので、課題として頂戴いたします。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・施設側からですが、無償化が始まった際、その事務作業などが現場の先生方にくるのかどうかを不安に思っています。最近は子どもの保育だけではなく、保護者支援や子育て支援、障害児保育もやってくださいという国の流れになっている中で、全てを現場の保育士が行って、さらに事務作業もということになれば、恐ろしいことになります。ご配慮をお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・無償化の財源が消費税の増税分ということになれば、それがどのように市に補填されるのかは、今のところまったく分かっていませんが、それがはっきりした時点で事務作業についても明らかになってくると思います。その部分は注視していきたいと考えております。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度から始まった五条川小学校の放課後児童クラブについて、平成29年度だと48名不足していましたが、定員が30名から80名に拡大されましたが、実際の利用はどうなっていますか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・五条川小学校放課後児童クラブは80名に定員を増やしまして、4月の段階で68名が通年で入っていらっしゃいます。 ・平成29年度は春休みのみの利用も含め66名でした。昨年の4月の通年の方は49名でしたが、5年生、6年生を拡大しました。実際、5年生、6年生は4名しか増えていませんが、低学年でも働くお母様方が年々増えていきますので、去年よりは増えていると捉えております。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度第1回岩倉市子ども子育て会議を閉会させていただきます。